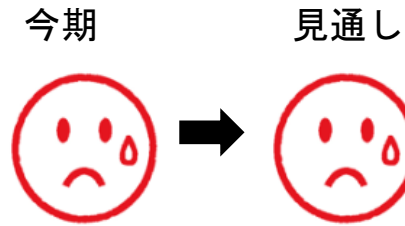
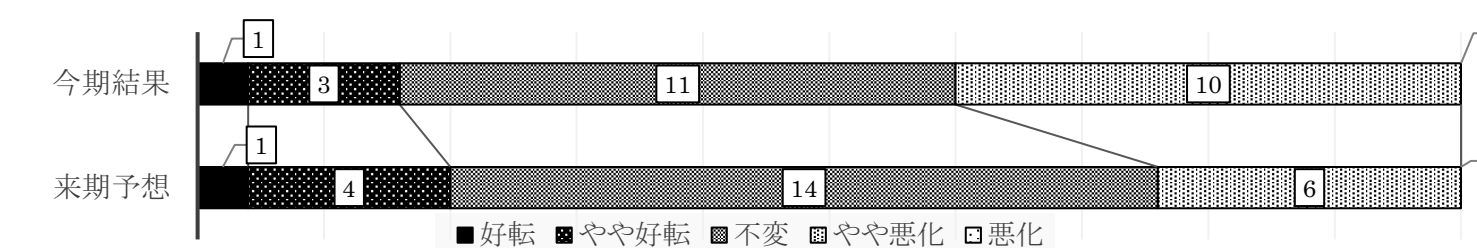
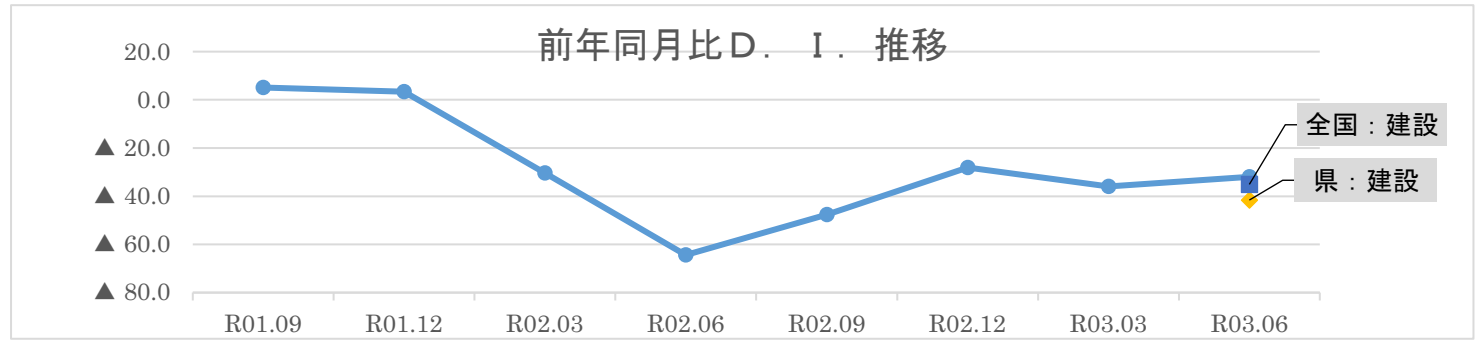


建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移
新規の一般住宅の需要はあるものの、ウッドショックの影響で木材及び建築資材全般が値上りしており、見積価格が安定せず、成約に結びつきにくい状況である。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

ウッドショックの影響が出ている。新規の一般住宅の需要はあるが、木材及び建築資材全般が値上りしており、見積価格が安定せず、成約に結びつきにくい。また、数か月先の建材の価格状況が予測できず、営業にも大きな影響を及ぼしている。

【丹波市の来期の景況予想】

ウッドショックの影響により木材価格が高騰しており、それに関連する集成材の価格も高騰が続いている。価格の上昇分については今後も転嫁しにくい状況が続くと思われる。

■全国の景気動向

新型コロナウイルス感染症の影響はさほど感じられず、住宅建築関連の需要増に伴い改善の傾向がみられるが、ウッドショック等原材料価格高騰の影響が大きく、材料価格の上昇や材料欠品による工期の遅れが出始めている。

■県下の景気動向

住宅建築関連の需要増に伴い、材料価格が上昇しているうえ一部の資材等についてはメーカーが欠品しており、納品時期が未定のため工事が始められないなどの影響が出ている。

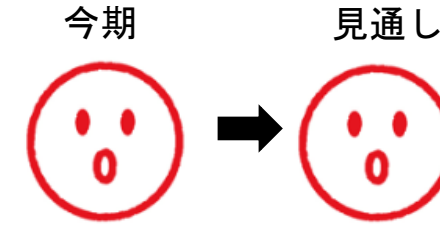
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	0	0	2	1	0	4	16.0%
不変	1	7	0	0	1	0	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	5	1	2	1	2	12	48.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

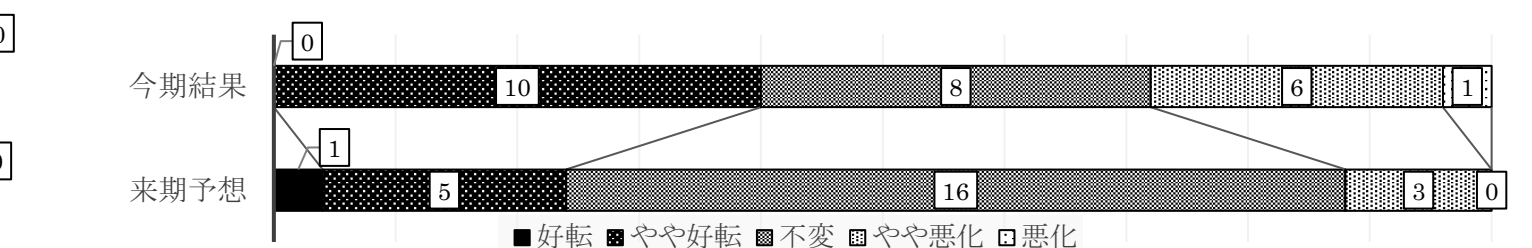
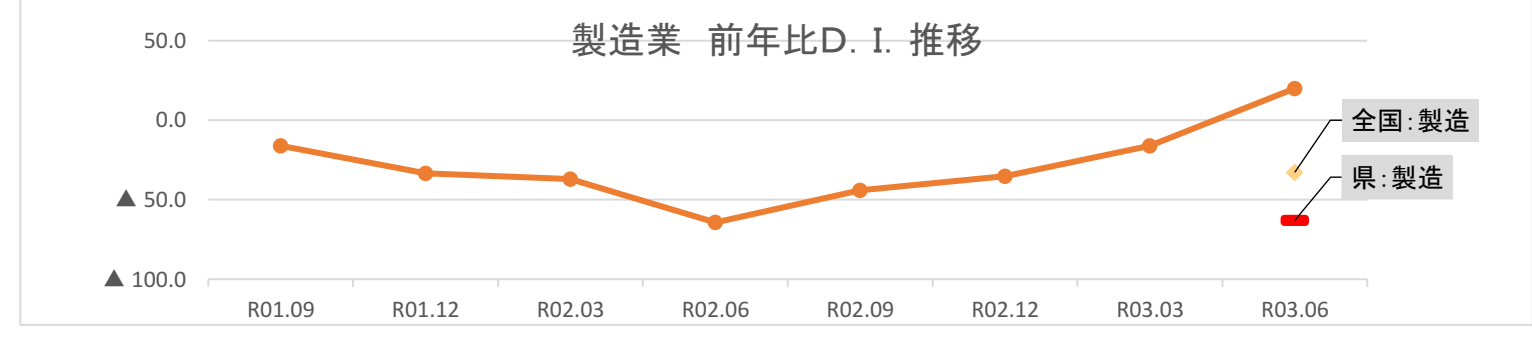
製造業

回答率：100% (25/25)

2021年4月～6月期調査



■丹波市の景況推移
回復基調が加速しているが、業種業態によって回復度合いが大きく異なる。懸念材料としては、原材料の価格高騰による経営の圧迫である。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

木材価格の高騰や半導体の不足及び資材の納入遅延等が発生し、受注量が思わしくない業種もあるが、全体を通じては、業況は好転しており、新型コロナウイルスの影響は薄れてきている。

【丹波市の来期の景況予想】

回復基調にあるものの、原材料の価格高騰で業況は今期と大きく変わらないと見込まれる。

■全国の景気動向

機械・金属や半導体部品の需要が旺盛で、自動車関連を中心に輸出が回復基調にあり、年内の需要が継続的に見込まれる。食料品製造業は、原材料の入荷が順調で製造量も増加しており、業況は好転しているが、外食産業に至っては回復の兆しが見えない。製造業は業種を問わず、全体的に原材料の価格高騰が経営の圧迫に繋がっており、上昇を懸念する声が見られる。

■県下の景気動向

半導体の不足、木材や鉄鋼などの価格高騰により、資金繰りに苦慮している企業も見受けられるが、全体的に回復基調にある。

■地区ごとの回答（前年同期比）

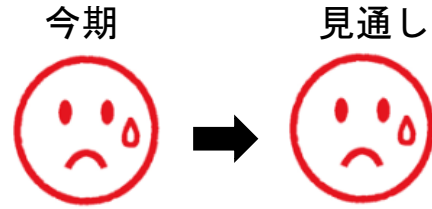
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	1	3	2	10	40.0%
不変	2	3	2	2	0	1	10	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	3	0	0	0	5	20.0%
合計	3	8	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

回答率：100% (25/25)

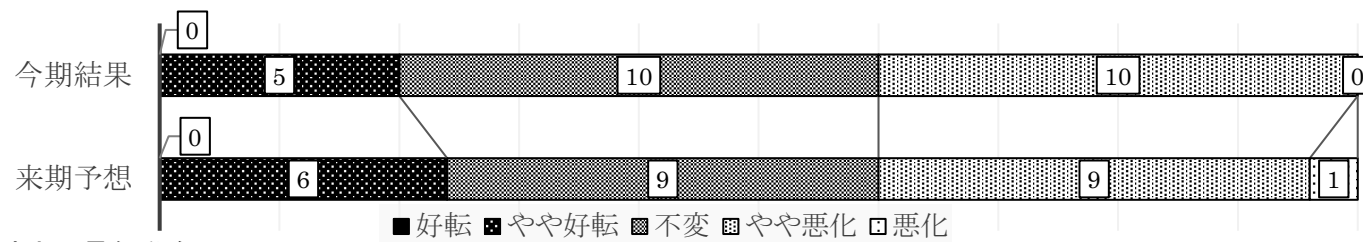
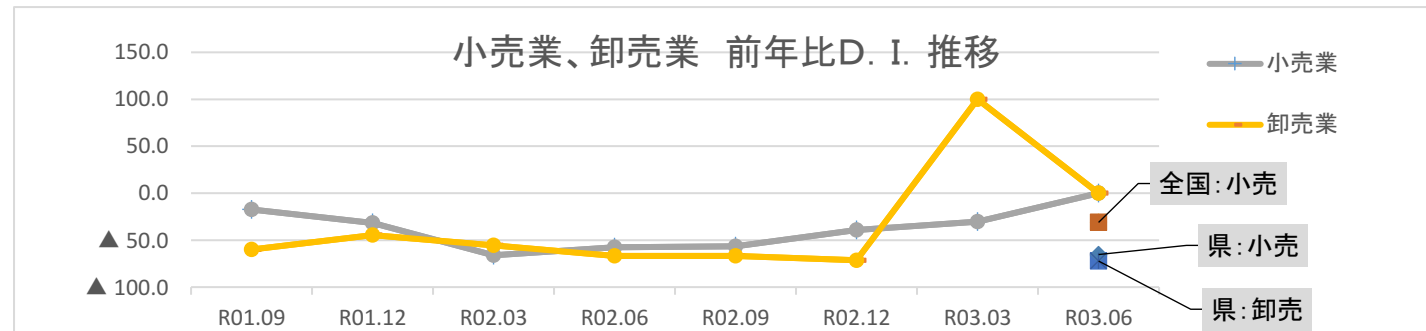


良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



■丹波市の景況推移

緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行し、食料品関係は巣ごもり需要の影響もあり堅調である。しかし、飲食店向け業務用卸の需要回復は難しく、まだまだ厳しい状況が続く業種もあり、二極化の傾向がみられる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食料品類は巣ごもり需要の影響で比較的安定した状況が続いているが、業務用卸は緊急事態宣言の影響で全く動いておらず、公的支援も受けられず資金繰りは非常に厳しい。燃料販売等は原油価格の高騰で販売額は増えても利益減少の傾向にある。

【丹波市の来期の景況予想】

自動車販売は、半導体の影響で新車が3か月待ち状態で動きが鈍く今後悪化が予想される。観光業も新型コロナウイルスの影響で大きな打撃を受けており、観光人口の減少に伴い付随商品の売上減少が予想される。

■全国の景気動向

食料品関連は、引き続き巣ごもり需要で好調であった。衣料品関係は、仕入単価上昇が止まらず、受注が回復しても採算が採れない状況にある。また、在宅勤務が推奨される中で、紳士服売り上げ激減が続いている。全体的に消費者の購買ニーズがネット販売に流れる傾向が続き、厳しい状況が続いている。

■県下の景気動向

緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行したため、堅調な食品スーパーの他、中古自動車需要など一部の業種は改善傾向にあるが、飲食業関係や業務用卸はまだ厳しい状況が続いている。

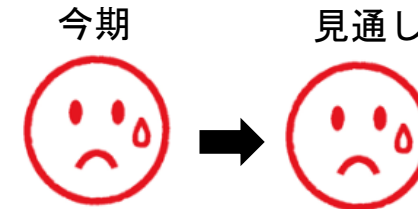
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	4	0	2	1	0	7	28.0%
不変	2	5	1	1	0	2	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	4	0	0	1	2	0	7	28.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

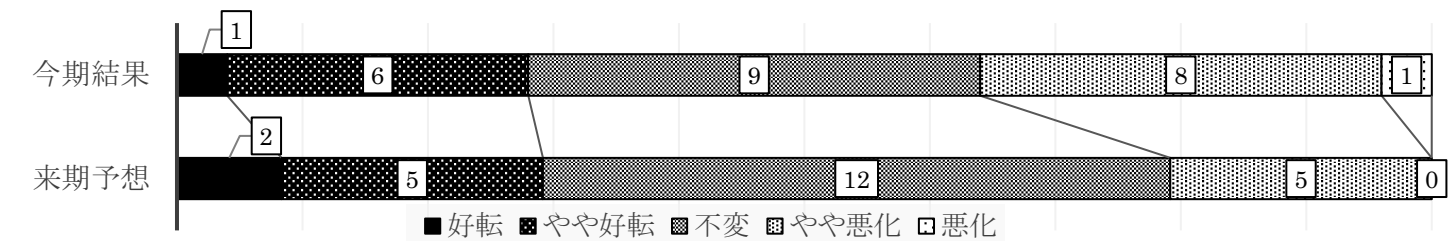
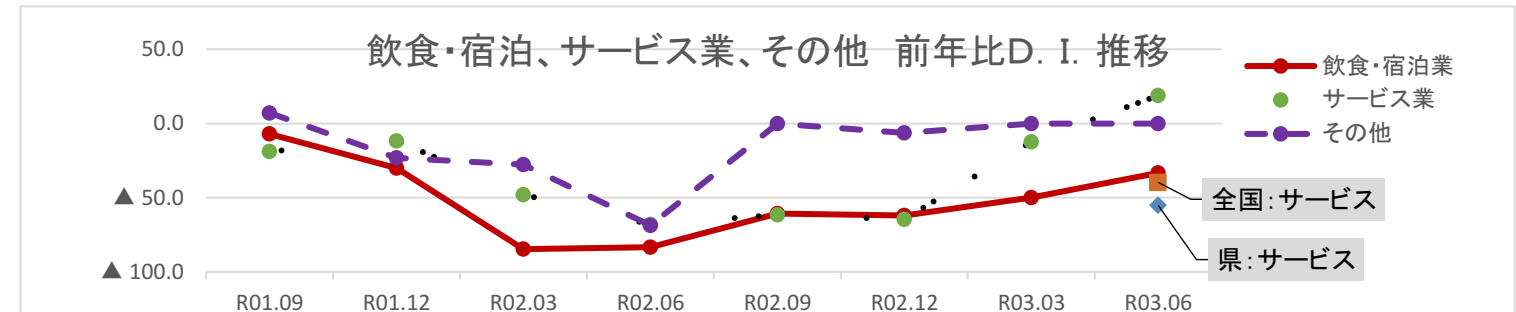
回答率：100% (25/25)

2021年4月～6月期調査



■丹波市の景況推移

緊急事態宣言が解除された事により、盆休暇を中心とした夏季休暇の需要拡大を見込み、サービス業種全体では横ばい、若しくは改善を期待する状況が見られる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

サービス業全般では、新型コロナウイルスの影響下でありながら、前期に続いてDI値は緩やかに改善傾向にある。比較的好調な業種としては不動産業。都市部からの移住やテレワークに活用できる中古物件に関する需要が高まっている。また理美容業種でもワクチン接種の効果もあり、客足の安定化が見られる傾向にある。

【丹波市の来期の景況予想】

緊急事態宣言が解除された事により、盆休暇を中心とした夏季休暇の需要拡大を見込み、サービス業種全体では横ばい、若しくは改善を期待する状況が見られる。しかし新型コロナウイルス感染拡大は予断を許さない状況であり、未だ本格営業の見通しが見えない飲食・宿泊関連業種については厳しい業況予測が続く。

■全国の景気動向

9都道府県で緊急事態宣言が解除され、依然として厳しい水準ではあるが、飲食業・旅行/宿泊業でもDI値の改善が見られた。また、企業のデジタル化を背景にソフト受託開発が堅調な情報サービス業や、建設機械器具賃貸が上向いたリース・賃貸業等、サービス15業種中12業種で改善傾向が見られた。

■県下の景気動向

理美容業は、外出自粛の規制が少しずつ緩和され、客数も増えてあり回復傾向が見られる。一方宿泊業は未だ客数減少傾向が継続している。飲食業については、客数が少しずつ戻っているものの、回復速度は遅く、厳しい景況感が続く。洗濯業は、個人客需要は増加傾向にあるものの、宿泊施設等の業務用需要は変わらず低迷が続く。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	4	1	1	1	0	7	28.0%
不変	3	2	1	3	2	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	2	2	0	0	0	6	24.0%
合計	5	8	4	4	0	1	25	100.0%